

# 美 いつまでも若々しく！ のヒミツをおしえます

第 6 回

自然な二重まぶた

目元は、顔の印象を大きく変える。それゆえ「自然な二重まぶた」に憧れる方も多いのでは？  
今回は、ナチュラルに魅力をアップする二重まぶたになるための手法についてご紹介します。

## 憧れの二重まぶたを 手に入れるために

重たい一重まぶたをコンプレックスに感じている人は少なくありません。ピンをまぶたに当ててみたり、二重形成ののりをまぶたに塗ってみたりしながら「いつかは二重にならないだろうか」と、鏡の前で思案した経験を持つ方も多いのでは？

その一方で、いざ「二重形成手術」となると、なかなか踏み出せないものです。多くの懸念はその仕上がりでしよう。思い描くような二重にならないかったときのリスクを思えば、つい二の足を踏んでしまいがちです。しかし現在は、「不自然な二重になつてしまう」というリスクを軽減する、さまざまなアプローチ法があるのです。

## 目やまぶたの形状に合わせて 選べる2つの手術法

さて、二重まぶたの手術には大きく、まぶたを糸で留める「埋没法」と、メスを入れる「切開法」の2つがあります。埋没法の一番のメリットはダウンタイムが少ないこと。術後の腫れも穏やかで3日でメイクができるようになることがほとんどです。



院長 依田拓之

7年間の東京警察病院形成外科勤務を経て平成15年に日本形成外科学会認定専門医の資格を取得。美容外科クリニックで7年間院長を務めた後、平成22年によだ形成外科クリニックを開業。日本形成外科学会 (JSPRS)・日本美容外科学会 (JSAPS) 正会員

また、早期であれば留めている糸を外せばほぼ元に戻るのですが、いざというときも安心。一方「点」でまぶたを留めるので、永久に二重を継続するのは困難。まぶたの厚い方や眼瞼下垂の方は不向きな場合も。現在は、ひと口に「埋没法」といっても、より多いポイントでまぶたを自然に持ち上げる「ツルキリ法」など、多様な術式が存在します。

逆に言えば、問診に少しでも不安を感じる部分があれば、その病院での手術は考え直すべきでしょう。どんなリスクがあるかをしっかりと説明し、そのリスクを可能な限り回避するための術式を提示することができる医師の下でのみ、手術を受けるべきです。

## まずはイメージの共有と 医師による問診が大切

埋没法と切開法。どちらを採用するかはケースバイケースです。まぶたの厚みや目の形、骨格。また自分が「どんな二重を理想とするか」で、アプローチは異なってきます。

そこで大切になるのが問診。医師の視点でまぶたの形状や状態を細かく分析し、「本人がどんな二重を思い描いているのか」を、丁寧なヒアリングによってすくすくあげる過程が重要となってきます。

毎日鏡の前でまぶたを上げ下げしていた日々とは、もうお別れ。理想の二重まぶたを、手に入れてください。

Before

比較的厚めのまぶた。「いつのまにか二重に」という自然な印象がご希望でした



After

「ツルキリ埋没法」でより多くの点を留めつつ、ナチュラルな二重になりました (写真は術後1ヵ月)



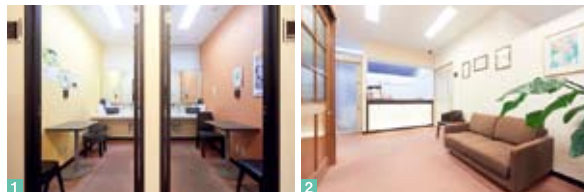
◆ 二重まぶた埋没法

- ツルキリ変法 7万5000円 (両側・税別)
- プレミアム法 15万円 (両側・税別)

◆ 二重まぶた全切開法

21万円 (両側・税別)

他メニューはホームページをご覧ください。



1. プライバシーが保てるように待合の個室も完備。安心して来院できる環境だ。
2. 明るく爽やかな落ち着きのある院内。完全個室での診察なのでプライバシー面も安心。



## よだ形成外科クリニック

形成外科・美容外科・美容皮膚科 YODA APS CLINIC

仙台市青葉区花京院 1-1-6 Ever-i 仙台駅前 2F ☎022-266-1120 (完全予約制)

診療科目 / 形成外科・美容外科・美容皮膚科

受付時間 (土日も診療) / ● 9:30~12:30, 14:00~18:30 ● 土・日曜9:30~17:30 休診日 / 水曜、第1・3・5日曜、祝日

予約・問合せ info@yoda-clinic.jp

